

地域活動の進め方に関心

中国計画生育訪日団



中国計画生育訪日団の一行が、母子保健行政の取り組みを視察するため、十月二十日に本市を訪れ、保健事業の現場を見学しました。これは家族計画国際協力財団（略称ジョイセフ）が、中国の家族計画遂行の援助として毎年行っている交流事業の一環。中国政府や各省の保健衛生責任者など十一人が訪れました。

今回の訪問についてジョイセフ外国人研究員の丁小鳴さんは「中国は日本と比べるとまだまだ乳児死亡率が高く、特に農村部では保健衛生に対する意識が低い。そのため、地域の意識を高めるための地区活動を学びたい」と視察の目的を。昨年、厚生大臣表彰を受けた保健会活動などについて関心を示していました。

一行は保健センターで市の保健事業の概要、保健会、母子保健事業などについて説明を受けた後、大通地域生活センターで「遊びの教室」を見学しました。同教室は三年前から大通地区保健会が保健センターと福祉事務所の協力を得て実施しているもので、保育園入園前の母子が対象。遊びを通じたスキミングの場を提供しています。



この日は輪くぐりや歌など、親子で楽しめる遊びを。一行は母親に「病気がないか」「子供の年齢は」「兄弟は」などと親しく話し掛けていました。中国計画生育協会国内部副部長の高志栄女史は、大通地区の取り組みについて「新しい地区でいろいろな活動を実施するのは難しいにもかかわらず、関心をよく把握し、大変素晴らしい」と称賛。地域活動の手法を、広く普及させたいと話していました。

この後一行は、農家の三世代同居世帯のモデルケースとして、上塩俵の横山勝男さん宅を訪問。家庭での健康管理や農作業について熱心に質問していました。



校舎の完成を祝う

北中竣工式

今年四月に開校した白根北中学校の竣工式が十月三十一日、同校体育館で行われました。式典には四百六十六人の在校生をはじめ、父母や地元関係者など五百十人が出席。新しい校舎と体育施設の完成を祝いました。

同校は人口急増地区を校区とすため、増築スペースを十分に確保。広い体育館は一部二階建てで、市内の学校としては初めて柔剣道場を備えています。

式典では、生徒代表の野口健太君が「多くの人が私たちのために尽力してくださったことに感謝し、期待にこたえるよう全力で新しい校風を築きます」と喜びの言葉を述べました。また新しい校歌も披露。作曲者の後藤丹上越教育大学助教授が指揮を執り、式典に花を添えました。

子育ては母親育て

子供未来フォーラム

さまざまな世代の人が集まり、子育てについて話し合う「子供未来フォーラム」が十一月十日、カルチャーセンターで行われました。この催しは母子愛育会新潟県支部や白根市連合保健会などが主催したもの。会場には市内外から約二百五十人が集まりました。

フォーラムでは「子育て、私の体験」をテーマに四人が発表。子育てで真つ最中という長谷川百合子さんは「子育てを通して子供や家族によって自分の中の母親を育てられた」と三夫婦、九人家族の子育てを披露しました。

また前日本教育開発センター所長の小山一宏氏が「二十一世紀へ子供たちへ贈りたいもの」と題して記念講演。参加者たちは熱心に耳を傾けていました。



努力の上に心棒(辛抱)を立てる

桂 小金治 文化講演会

市では十一月一日、タレントの桂小金治氏を迎え、カルチャーセンターで文化講演会を開きました。桂氏は、落語界から映画界入りし、以後映画やテレビで活躍。テレビ番組「それは秘密です」の名司会はあまりにも有名です。「人の心に花一輪」と題した講演に、約六百人の市民が集まりました。

桂氏は自分の生い立ちを中心に講演。軽妙な語り口で、父のこと、桂小文治師匠のことなどをユーモアたっぷりに話し、会場は笑い声が絶えません。「努力だけならだれでもやる。努力の上に心棒を立てる。この心棒(辛抱)が大事なんだ」と父に言われ、厳しく育てられた幼少時代。この経験によって、今の自分があると話します。また「人の苦しみや悲しみをわが身のことと思ってしまう」と「それは秘密です」の番組から、同氏が一番心に残っている話を紹介。会場には、思わずハンカチを手にする姿も見受けられました。

講演では、同氏の特技という草笛やハーモニカも披露。「荒城の月」など数曲を演奏し、会場からは盛んな拍手が送られました。



8人の功労者を表彰

市社会福祉大会

市社会福祉大会が十一月六日、サルナート吉運堂で開かれ、また。豊かな福祉社会実現を目的としたこの大会には、約五百十人が出席。福祉功労者などの表彰や講演が行われました。講演でCMS日本カウンセリングセンターの藤本礼子氏は「家族・家庭の中で良い人間関係をつくること、社会福祉の基礎となる」と訴えました。

席上、次の人たちが表彰を受けられました。(敬称略)

【福祉功労表彰】 山際ヨシエ(東笠場) 齊藤シン(下赤浜) 金子ヒサノ(引越) 関川敏夫(旭町2) 【永年勤続功労表彰】 松野三四二(菱潟1) 成沢素明(東笠巻新田1) 上杉スズ(桜町5) 【感謝状】 長谷川増蔵(下大郷2)

受章おめでとうございます

(秋の叙勲) 11月3日付け

吉沢正五氏に勲四等旭日小綬章が



前白根市長の吉沢正五氏(菱潟新田・七十歳)に勲四等旭日小綬章が贈られました。同氏は昭和三十六年から六十年まで、六期二十四年にわたって市長を務められ、本市の発展に尽力。全国市長会理事、県市長会長などの要職を務められ、地方自治の発展に多くの功績を残されました。

笹川喜一郎氏、田中 清氏に

勲五等瑞宝章が



白根商工会長の笹川喜一郎氏(五六の町・七十八歳)に勲五等瑞宝章が贈られました。同氏は昭和三十年に白根町商工会の運営に参画。五十二年から白根商工会長、五十四年から県商工会連合会理事を務められるなど、各種経済団体の要職を歴任。地域商工業の発展に尽力されました。



元市農業委員会会長の田中清氏(松橋・七十二歳)に勲五等瑞宝章が贈られました。同氏は昭和三十一年から五十八年まで市農業委員を、四十二年から五十八年まで県農業会議議員を務められ、市農業委員会会長、県農業会議農政部長などの要職を歴任。農業の振興に尽力されました。